令和７年度　重要な取組及び主な取組の進捗状況報告書

資料２

■重要な取組

No	戦略分類	施策名	所管	頁番号	備考
1	基本戦略（サステイナブル戦略）	持続可能な取組につながるコンテンツの開発	淡路島観光協会	1	
		あわじ環境未来島体験ツアーの企画・実施	淡路県民局	2	
		リジェネラティブツーリズムの推進（クリーンアップ活動の観光コンテンツ化）	南あわじ市	3	
2	推進戦略１（商品戦略①：物語化）	国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーをコンテンツとして作り込み、磨き上げ	淡路島観光協会	4	
3		地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、おいしさ、すごさ等を現地で体感できる観光コンテンツの造成	淡路島観光協会	5	一部★
4		ストーリーテラーとしてのガイド養成とガイドを活用したプログラムの開発	淡路島観光協会	6	
5	推進戦略２（商品戦略②：高付加価値化）	「ひょうごフィールドパビリオン」や「特別感のあるプログラムの開発」などによる高付加価値化への対応	淡路島観光協会	7	一部★
6		ＡＷＡＪＩ島博の実現に向けた取組の推進	淡路島観光協会	8	一部★
7	推進戦略３（アメニティ戦略）	新幹線・飛行機・高速バスとレンタカー・カーシェアの活用促進、高速バス・路線バス等の持続性の向上	淡路島観光協会	9	
	基本戦略（サステイナブル戦略） 推進戦略３（アメニティ戦略）	公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進	淡路県民局	10	
	推進戦略３（アメニティ戦略）	淡路島MaaSの推進	淡路県民局	11	★
8	推進戦略３（アメニティ戦略）	観光客目線での景観の再構築（おもてなし看板の設置、島内観光案内看板の統一、島の玄関口の環境整備、街路樹の整備、観光地の環境美化）	淡路島観光協会	12	
9	推進戦略４（情報戦略）	島外進出企業との情報交換会の開催	淡路島観光協会	13	
		島外進出企業との情報交換会の開催（宿泊特化型ホテルとの地域連携方策の検討と推進）	淡路県民局	14	
10	推進体制と検証体制の確立	日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)を活用した目標設定と推進	淡路県民局	15	

■主な取組

1	基本戦略（サステイナブル戦略）	観光及び観光産業に対する島民の理解促進意見交換会等の実施	淡路県民局 淡路島観光協会	16	
2		サイクリストの走行環境整備	淡路県民局	17	
		シンボルイベントの開催	淡路県民局	18	
	推進戦略３（アメニティ戦略）	淡路地域サイクルツーリズムの推進	淡路県民局	19	
3	推進戦略２（商品戦略②：高付加価値化）	新たな誘客ルートを確保	洲本市	20	
4	基本戦略(サステイナブル戦略)	大浜公園の利用促進	洲本市	21	
5	推進戦略２（商品戦略②：高付加価値化）	鳴門海峡エリアの観光ブランディング事業	南あわじ市	22	
6		徳島空港＋レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ	淡路島観光協会	23	一部★
7		世界的観光立島・淡路市事業（はじまりの島　あわヂカラ フェスティバル（淡路市マスコットキャラクターイベント事業））	淡路市	24	
8	推進体制と検証体制の確立	観光協会ツアーの実施(自主財源確保対策)	淡路島観光協会	25	

【★】関空及び神戸空港関連淡路地域振興事業

重要な取組の進捗状況

（戦略分類）基本戦略（サステイナブル戦略）

（施 策 名）No. 1 持続可能な取組につながるコンテンツの開発

（団体名）淡路島観光協会

1. 概要

淡路島ならではの豊富なコンテンツを活かしたSDGsコンテンツの可能性を洗い出し、洗い出したコンテンツを活用する。

2. 令和7年度における取組の目標

・造成したコンテンツの磨き上げ（受入環境整備、多言語対応、宿泊を絡めたパッケージ化など）、販売強化

・環境保全配慮などにつながるコンテンツ（漂着ゴミ活用など）の造成

3. 取組状況（2月末時点）

・「淡路島ならではの本物体験」コンテンツ造成：計112プラン

・SDGs関連コンテンツの新規造成：14プラン（計46プラン）

・「体験コンテンツ×宿泊プラン」の連携販売

4. 課題

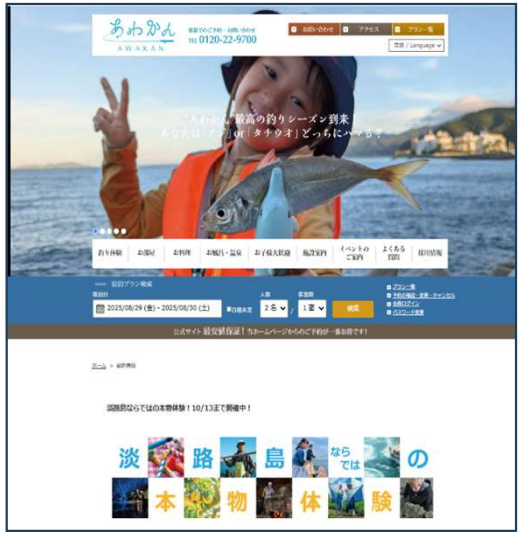
・造成したコンテンツのさらなる進化（特別感・満足感アップなど）

・環境保全配慮などにつながるコンテンツが未造成

5. 令和8年度の取組（予定）

・環境保全配慮などにつながるコンテンツの造成

【 SDGs関連コンテンツ】



【宿泊施設（あわかん）×本物体験プラン】

重要な取組の進捗状況

（戦略分類）基本戦略（サステイナブル戦略）

（施 策 名）No. 1 あわじ環境未来島体験ツアーの企画・実施

（団体名）淡路県民局

1. 概要

島内で展開されているプロジェクト現場等の見学・体験を通して、構想に対する理解を深め、SDGsや淡路島の未来を考えるきっかけとしてもらう「あわじ環境未来島体験ツアー」の企画・実施により、島内のSDGsコンテンツの洗い出しを行う。

2. 令和7年度における取組の目標

あわじ環境未来島構想を推進する取り組みの中で、観光商品にふさわしいコンテンツを抽出する。

3. 取組状況（2月末時点）

・令和7年11月22日（土）にツアー実施

【内　　容】・AWAJI EARTH MUSEUMでピザ・スープづくり
・吹き戻しの里で吹き戻し製作体験
・野島断層保存館の見学、震災体験

【参加人数】25名

令和7年度に実施した体験ツアーの様子
（ピザづくり体験）

4. 課題

・展開されているプロジェクト現場の少なさ

5. 令和8年度の取組（予定）

・令和8年度は事業実施しない

重要な取組の進捗状況

（戦略分類）基本戦略（サステイナブル戦略）　　（団体名）南あわじ市

（施 策 名）No.1　リジェネラティブツーリズムの推進（クリーンアップ活動等の観光コンテンツ化）

1. 概要

・現在、地域で取り組んでいる環境に良い影響を与える活動に、観光客も参加することで、旅の満足度を高める。

2. 令和7年度における取組の目標

3海峡クリーンアップ大作戦への参加呼びかけ

3. 取組状況（2月末時点）

・慶野松原ガイドツアーを実施する慶野松原根上がり隊では、ツアー参加者に松葉集め作業を体験していただく取組を行っている。

・国立公園慶野松原の清掃活動

4. 課題

・リジェネラティブツーリズム推進に向けた機運醸成と啓蒙活動

・観光客が活動に参加できる受入体制の充実

・ゴミの受入及び処理

5. 令和8年度の取組（予定）

・上記取組を継続予定

【清掃活動の様子】

重要な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略１（商品戦略①：物語化）　　（団体名）淡路島観光協会
（施 策 名）No.２ 国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーを観光コンテンツとして作り込み、磨き上げ

１．概要

日本遺産等の紹介にとどまらず、国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーを観光コンテンツとして作り込み、磨き上げ

２．令和7年度における取組の目標

・国生み神話の謎解きプログラムの造成・販売
・ストーリーの深掘り、ガイドの発掘と育成

３．取組状況（２月末時点）

・「松帆銅鐸＆五斗長垣内遺跡を巡る」コンテンツの造成
・首都圏発旅行会社パッケージプランの働きかけ・造成・販売

４．課題

ストーリーの深掘りや顧客満足度の高いスキルを持つガイド養成など

５．令和8年度の取組（予定）

・より満足度・特別感を感じられるコンテンツへの磨き上げ
・淡路島カルチャーアテンダントを活用しインバウンドへの対応

【淡路島の古代歴史の謎をたどるツアー】

【クラブツーリズムツアー（国生み神話ゆかりのスポット巡り旅）】

重要な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略１（商品戦略①：物語化）
（施 策 名）No.3　地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、おいしさ、すごさ等を現地で体感できる観光コンテンツの造成

（団体名）淡路島観光協会

1. 概要

地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、美味しさ、すごさなどを現地で体感できる観光コンテンツの造成

2. 令和7年度における取組の目標

・「収穫・自然体験＋食事」など色々な体験コンテンツとの掛け合わせ
・造成したコンテンツの磨き上げ（満足度向上など）、販路拡大
・特別感や知的好奇心をくすぐる体験コンテンツの造成
・インバウンド対応（言語対応・予約サイト多言語化の拡大）

3. 取組状況（2月末時点）

・「収穫・自然体験＋食事」コンテンツの造成：７プラン
・ワイヤレスガイド（１式）やポケトーク（４台：多言語対応）の実践

4. 課題

・ 富裕層インバウンドを意識した特別感のあるコンテンツへ磨き上げ

5. 令和8年度の取組（予定）

・ 神戸・淡路の「食の魅力」を活かしたガストロノミーコンテンツの造成
・「淡路島ならではの本物体験」オンライン予約ページの多言語化（韓国語、台湾語など）

【由良漁協セリ見学後、由良の一本釣り魚ランチ】

【「海ホタルショー」＆古民家で味わう地産地消にこだわった食事と癒しの宿泊】

重要な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略１（商品戦略①：物語化）
（施 策 名）No.4 ストーリーテラーとしてのガイドの養成とガイドを活用したプログラムの開発

（団体名）淡路島観光協会

1. 概要

ストーリーテラーとしてのガイド養成とガイドを活用したプログラム開発

2. 令和7年度における取組の目標

・「淡路島旅先案内人」（Awaji Culture Attendant）」の認定・育成

3. 取組状況（2月末時点）

・「淡路島旅先案内人」（Awaji Culture Attendant）」の募集（9/1～）36名応募
・淡路島の基礎知識事前講習：10/19（講師：投石文子）
・認定試験（淡路島の基礎知識：11/9、英語試験：11/30）
・ Awaji Culture Attendant認定：16名（南あわじ市公認ガイド6名含む）
・研修（島内：12/7、島外：12/21）

4. 課題

・ガイドとしてのスキルアップと活躍機会の提供

5. 令和8年度の取組（予定）

・スキルアップ及び質的向上
・「Awaji Culture Attendant Premium（英語スルーガイド）」、
「淡路島旅先案内人（日本語ガイド）」の育成・認定

【 Awaji Culture Attendant認定者 】

【認定試験（英語試験）】

【島内研修（おのころ雫塩）】

重要な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略２（商品戦略②：高付加価値化）　　（団体名）淡路島観光協会
（施 策 名）No. 5 「ひょうごフィールドパビリオン」や「特別感のあるプログラムの開発」などによる高付加価値化への対応

1. 概要

大阪・関西万博に向けた着地型観光商品の開発と活用や、アドベンチャーツーリズムのプログラム造成、多言語対応できる ガイド・コーディネーターの養成

2. 令和7年度における取組の目標

・造成したコンテンツの磨き上げ（満足度向上など）、販路拡大
・インバウンド対応（言語対応・予約サイト多言語化の拡大）

3. 取組状況（2月末時点）

・ひょうごフィールドパビリオンと連携したコンテンツの造成、予約、販売：15プラン
・富裕層インバウンドAGT招聘（アジア向けFAMトリップ）（6月20日）
・シンガポール富裕層旅行者のアテンド（5月29日）
・富裕層インバウンドAGT招聘（欧米向けFAMトリップ）【★】
（9月8-10日、10月17-18日、R8.1月14-16日、2月9-10日）
・FAMトリップにAwaji Culture Attendantにアサイン（R8.1～）

【地元民も知らないスポット巡り：沼島編】

【お香づくり体験】

【シンガポール富裕層旅行者（禅坊靖寧）】

【富裕層インバウンドAGT招聘（欧米向けFAMトリップ）】

4. 課題

・特別感、優越感が感じられるコンテンツへのアレンジ
・今年度認定したガイドをアサインし活動機会を提供

5. 令和8年度の取組（予定）

・首都圏のDMCや旅行会社などを招聘したFAMトリップ、商談会、ネットワークイベントの実施し、旅行商品造成への働きかけ。【一部★】
・「収穫・自然体験＋食事」など富裕層インバウンド向けのここでしか味わえない特別感のあるコンテンツの造成や磨き上げ。

重要な取組の進捗状況

（団体名）淡路島観光協会

（戦略分類）推進戦略２（商品戦略②：高付加価値化）
（施 策 名）No. 6 ＡＷＡＪＩ島博の実現に向けた取組の推進

1. 概要

大阪・関西万博の開催に合わせ造成した体験型コンテンツを活用しプロモーションを行い、淡路島への誘客を促進

2. 令和7年度における取組の目標

・プロモーションの実施
・ウェブスタンプラリー「島たまGo！」、AWAJISHIMA観光スマートパスポートによる周遊促進

3. 取組状況（2月末時点）

・関空（5/11～12）、大阪・関西万博会場（5/23～25、8/2、8/20～22）などでのブース出展やイベント参加のほか、メディアを活用しプロモーションを実施
・「島たまGo！」ユーザー数：5,956人（12月末）総登録数
スポット総訪問回数：17,322回、平均訪問回数：4箇所（12月末）
・「AWAJISHIMA観光スマートパスポート」販売：477枚

4. 課題

・島博メインの「本物体験プラン」の磨き上げ
・インバウンド多言語対応（通訳など）

5. 令和8年度の取組（予定）

・ 体験コンテンツの磨き上げ、「島たまGo！」、「AWAJISHIMA観光スマートパスポート」の実施

【関西国際空港1F到着ロビー】

【大阪・関西万博会場　淡路島PRブース（フェスティバル・ステーション内）】

【るるぶ万博：裏表紙裏面】

【Rishe2025：特集ページ】

重要な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略３（アメニティ戦略）
（施 策 名）No. 7 新幹線・飛行機・高速バスとレンタカー・カーシェアの活用促進、高速バス・路線バス等の接続性の向上

（団体名）淡路島観光協会

1. 概要

公共交通の活用とレンタカー・カーシェアの活用促進

2. 令和7年度における取組の目標

・高速バスのオープンドア化（京都・大阪➡淡路島）、神戸空港➡淡路島行バスの増便
・レンタカー・カーシェアの活用促進
・島内観光地を巡るシャトルバスの提案

3. 取組状況（2月末時点）

・交通事業者を含めた課題の共有（5/23関空・神戸空港関連地域振興協議会（3市副市長ほか）、淡路島観光会議にて交通関係の課題を共有し、今後の交通施策の方針をまとめる（11/25）
・カーシェア設置個所拡大（北淡IC高速バス停駐車場：2台設置）
・「インバウンドを見据えた観光・移動ルート」の検討

4. 課題

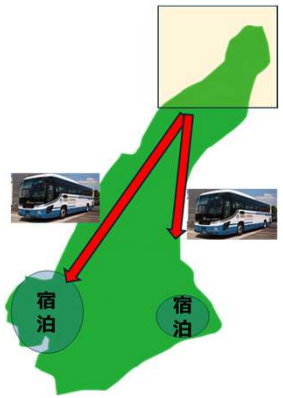
・陸路海路空路で関西圏・瀬戸内をつなぐ具体的施策の提案とトライアル
・マイカー以外のスムーズな移動手段の確保

5. 令和8年度の取組（予定）

・「インバウンドを見据えた観光・移動ルート」の実証【★】
・ 神戸空港→淡路島行高速バスの増便要望

インバウンドを見据えた観光・移動ルート・プロモーション手法のご提案

（一社）淡路島観光協会



重要な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略３（アメニティ戦略）
（施 策 名） No. 7 公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進

1. 概要

淡路島発着の公共交通乗換検索サイト「バスモ」の機能拡充

2. 令和7年度における取組の目標

・R6年度公開の英語に加え、中国語（繁体・簡体）・韓国語を追加

・バス停の地図検索機能を搭載

・レンタカー、カーシェア、タクシー検索のページ改良（3月末予定）

3. 取組状況（2月末時点）

・中国語（簡体、繁体）・韓国語を追加

・バス停の地図検索機能を搭載

4. 課題

「バスモ」の周知（年間利用者（延べ）：日本語約5万人、英語：約400人）

5. 令和8年度の取組（予定）

・バス系統のナンバリングをバスモに表示

・バス遅延情報をバスモに表示

【中国語（繁体）】

【バス停の地図検索機能】

重要な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略３（アメニティ戦略）
（施 策 名）No. 7 淡路島MaaSの推進【★】

（団体名）淡路県民局

1. 概要

バス乗り場の機能強化、バスの機能強化、公共交通乗換検索サイト(buSmo)の機能強化に計画的に取り組み、

関西～淡路島～四国間のストレスフリーな移動利便性の向上、島内二次交通の充実をめざす。

2. 令和7年度における取組の目標

・バスロケーションシステムの導入

（GPS端末を搭載（全てのコミュニティバス））

・デジタルサイネージの設置（洲本BC、五色BC）

・バス系統のナンバリングの設定

3. 取組状況（2月末時点）

・デジタルサイネージ設置済（洲本BC、五色BC）

・バス系統のナンバリングルールを決定

4. 課題

・3市と連携し、計画的に推進

5. 令和8年度の取組（予定）

・デジタルサイネージの設置（福良、陸の港西淡）

・バス系統のナンバリングの設定

（コミュニティバス車両と拠点バス乗り場の標柱にナンバーを表示）

【淡路島MaaS全体計画（案）】

【デジタルサイネージ（洲本BC）】

重要な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略３（アメニティ戦略）
（施 策 名）No.８ 観光客目線での景観の再構築（おもてなし看板の設置、島内観光案内看板の統一、島の玄関口の環境整備、街路樹の整備、観光地の環境美化）

（団体名）淡路島観光協会

１．概要

景観の再構築など観光客目線を取り入れた提案を行う。

２．令和7年度における取組の目標

・景観の整備が望ましいと考えられるゾーンを中心に道路管理者等も含めた課題意識の共有

・継続的に沿道整備を要望

３．取組状況（2月末時点）

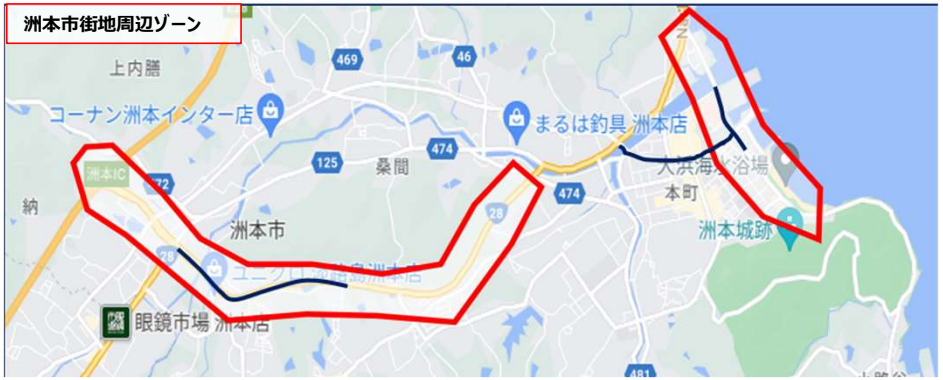
・景観に対する課題の共有

４．課題

・整備予算の確保

５．令和8年度の取組（予定）

・沿道の景観整備及び予算確保の要望（継続）



重要な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略４（情報戦略）
（施 策 名）No. 9 島外進出企業との情報交換会の開催

（団体名）淡路島観光協会

1. 概要

島外進出企業との情報交換を実施。観光戦略に沿った事業を展開

2. 令和7年度における取組の目標

・パソナグループなど島外進出企業と情報交換のもと、「淡路島総合観光戦略」に沿ったより相乗効果の高い戦略の実施

3. 取組状況（2月末時点）

・インバウンド来島時やFAMトリップ時に、訪問先・昼食場所を情報共有し相互に連携して行程組込やアテンドを実施

・淡路ユースフェデレーション（AYF)フェロー（メンバー）による「本物体験」コンテンツの海外へのSNS発信

・新規アトラクション、オープン施設の現地視察・情報交換

4. 課題

・情報共有の体制整備と連携した取組を強化

5. 令和8年度の取組（予定）

・「淡路島ゴールデンルート」実証事業の連携

・淡路島一体となった相乗効果の高い事業の実施

R7.5.29 シンガポール富裕層旅行者

「海ホタルショー」 海外へのSNS発信（Instagram）

重要な取組の進捗状況

（団体名）淡路県民局

（戦略分類）推進戦略４（情報戦略）
（施 策 名）No. 9 島外進出企業との情報交換会の開催（宿泊特化型ホテルとの地域連携方策の検討と推進）

1. 概要

宿泊特化型ホテルを拠点に、地域から提供される”体験”“食 “交通”の3要素について、地元企業や行政、団体等との連携を深める取組を実施する。

2. 令和7年度における取組の目標

ホテル周辺地域への誘客を促進するため、意見交換を実施し、
取組の方向性を検討する。

3. 取組状況（2月末時点）

宿泊特化型ホテルのフェアフィールド・バイ・マリオット兵庫淡路島東浦を訪問し、
食・体験・交通等について意見交換を実施し、現在の観光の状況と課題を
共有した。（令和8年1月23日（金））

4. 課題

・夜間の食事場所の確保（周辺に夜間飲食できる店が少ない）
・交通手段の確保（ホテルからニジゲンノモリ・西海岸等の有名観光地へ行く際に
　バスの乗り換えが必要で不便。また、洲本市への交通手段が脆弱なため、
　行くことを断念するケースあり）

5. 令和8年度の取組（予定）

関係者が抱える課題を認識するため、適宜、意見交換を実施する。

【 宿泊特化型ホテルでの意見交換
（於：フェアフィールド・バイ・マリオット 兵庫淡路島東浦）】

重要な取組の進捗状況

（団体名）淡路県民局

（戦略分類）推進体制と検証体制の確立
（施 策 名）No. 10 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用した目標設定と推進

1. 概要

淡路島総合観光戦略の進捗状況を客観的に評価できるよう、JSTS-Dのうちから観光戦略の推進に必要なガイドライン項目を抽出し、アクションプランごとに対応させ、当該アクションプランに基づく取組の評価に活用する。

1　全アクションプランに対し、JSTS-Dガイドライン項目のうち、関連のある47項目の中項目をあてはめる。

2　アクションプランに基づく取組の所管部署は、あてはめられたJSTS-Dガイドライン項目の趣旨を踏まえ、実績を自己評価する。

3　自己評価については、「JSTS-D達成度」、「事業の進捗度」に分けて行う。

2. 令和7年度における取組の目標

JSTS-Dのうちから観光戦略の推進に必要なガイドライン項目を抽出し、アクションプランごとに対応させ、自己評価を実施する。

3. 取組状況（2月末時点）

前年度より追加したアクションプランに対しての項目を設定した。

4. 課題

自己評価について、より客観性が認められ評価基準が必要

5. 令和8年度の取組（予定）

・令和7年度において、前年度より追加したアクションプランに対しての項目を設定する。

・自己評価について、より客観性を持たせる方針・基準を検討する。

＜参考＞JSTS-Dのガイドライン概要(47項目)
A　持続可能なマネジメント（16項目）
　観光地経営、モニタリング　など
B　社会経済のサステナビリティ（8項目）
　効果測定、受入環境整備　など
C　文化的サステナビリティ（8項目）
　景観や文化遺産の保護　など
D　環境のサステナビリティ（15項目）
　自然遺産保護、資源の管理　など

【事業の進捗度】
a：計画以上に進捗
b：計画どおりに進捗
c：あまり進捗していない
d：進捗していない

【JSTS－D達成度】
Ⅳ：JSTS－Dに沿って事業を実施
Ⅲ：おおむねJSTS－Dに沿って事業を実施
Ⅱ：あまりJSTS－Dに沿って事業を実施していない
Ⅰ：JSTS－Dに沿って事業を実施していない

主な取組の進捗状況

（団体名） 淡路県民局
淡路島観光協会

（戦略分類） 基本戦略（サステイナブル戦略）
（施 策 名） No.1 観光及び観光産業に対する島民の理解促進意見交換会等の実施

1. 概要

島民の観光に対する理解を深めるため、観光戦略の周知を図るとともに、各種団体の会合や事業者等と接触する機会を活用して観光戦略の普及啓発や意見交換を行う。

2. 令和7年度における取組の目標

各種団体の会合を通じて、観光戦略の普及啓発や意見交換を行う。

3. 取組状況（2月末時点）

・あわじ環境未来島構想推進協議会総会にて観光戦略の周知と啓発を実施した。（令和7年5月27日）

・洲本市議会との意見交換会（令和7年10月8日）

4. 課題

周知・意見交換を行う機会の更なる拡大

5. 令和8年度の取組（予定）

各種団体の会合の機会に参加し、普及啓発を図る。

【あわじ環境未来島構想推進協議会総会】

【洲本市議会との意見交換会】

主な取組の進捗状況

（戦略分類）基本戦略（サステイナブル戦略）、推進戦略３（アメニティ戦略）
（施 策 名）No. 2 サイクリストの走行環境整備　　（団体名）淡路県民局

1. 概要

・サイクリストが安全・快適に迷わず走行できるよう、路肩拡幅、路面案内表示およびルート案内標識設置を行う。

・アワイチの「ナショナルサイクルルート」の指定を目指し、アワイチの魅力をPRするため、情報発信を推進する。

2. 令和7年度における取組の目標

・路肩拡幅L＝162m、 ルート案内の路面表示25箇所設置、ルート案内標識6基設置

・鳴門海峡を望む丸山漁港（南あわじ市）にフォトスポットを整備

3. 取組状況（2月末時点）

・路肩拡幅　L=110m（淡路市育波、室津、草加北地区）

・丸山漁港のフォトスポット整備

4. 課題

・路面表示について、警察との調整が必要

5. 令和8年度の取組（予定）

・自転車通行区間を示す矢羽根の設置

・ルート案内表示設置

【路肩拡幅（福良江井岩屋線）

【フォトスポット設置
於：南あわじ市丸山漁港】

主な取組の進捗状況

（戦略分類）基本戦略（サステイナブル戦略）、推進戦略３（アメニティ戦略）　（団体名）淡路県民局
（施 策 名）No.2 シンボルイベントの開催

1. 概要

他地域のサイクリングイベントとの連携も視野に入れたシンボルイベント（淡路島ロングライド150）を開催。

2. 令和7年度における取組の目標

淡路島一周150kmのサイクリングコース（通称「アワイチ」）を自転車で走る「淡路島ロングライド150」を今秋と来春の2回開催。

3. 取組状況（2月末時点）

第1回（今秋）を9月15日（月・祝）に開催。

第2回（来春）を3月15日（日）に開催予定。

第1回（今秋）開催概要

名称	淡路島ロングライド150 -AUTUMN 2025-
開催日	令和7年9月15日（月・祝）
参加費	5,000円
参加者	277名（申込者300人）
主催	淡路島ロングライド150実行委員会

4. 課題

・サイクルイベントの継続。

・2028年大鳴門峡自転車道開通に合わせたサイクルイベントの検討。

5. 令和8年度の取組（予定）

引き続き、「淡路島ロングライド150」を今秋と来春の2回開催する。

主な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略③（アメニティ戦略）
（施 策 名） No. 2 淡路地域サイクルツーリズムの推進

（団体名）淡路県民局

1. 概要

「アワイチ推進プログラム50（R1～R5）」に基づく走行環境・受入環境の整備や、情報発信を実施する。

2. 令和7年度における取組の目標

新潟県の「サドイチ」や滋賀県の「ビワイチ」など、他地域のサイクリングルートと連携することで、「アワイチ」の知名度向上や、更なるサイクリストの誘客に取り組む。

3. 取組状況（2月末時点）

・「2025佐渡ロングライド210」(5/18)において、「アワイチ」のガイドブック等を配布

・「淡路島ロングライド150-AUTUMN 2025-」（9/15）のゴール地点において、「ビワイチ」の紹介ブースを設置、「サドイチ」のガイドブック等を配布

・期間型自転車イベント「サイクルボール」を活用し、「ビワイチ」との連携イベントを実施

・万博会場において「ひょうごフレンドシップウィーク」の期間中（9/24～26）、新潟県とともに連携PRブースを出展

・「淡路島ロングライド150-SPRING 2026-」（3/15）のゴール地点において、「ビワイチ」及び「サドイチ」のガイドブック等を配布予定

AWAJI ISLAND CYCLE TOURISM
淡路島サイクルツーリズム

4. 課題

・新たな地域との連携

・さらなる誘客を目指したコンテンツの充実

5. 令和8年度の取組（予定）

・各地域での広報活動や連携イベント等を引き続き実施し、さらなる連携強化に取り組む。

主な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略２　（商品戦略②：高付加価値化）
（施 策 名）No.3 新たな誘客ルートを確保

（団体名）洲本市

1. 概要

大型クルーズ船の淡路島寄港を推進し、クルーズ船を活用した新たな誘客ルートを確保し、淡路島内の観光事業を推進する。

2. 令和7年度における取組の目標

淡路島寄港を成功させ、クルーズ船を活用した誘客の推進と物産販売を実施し、淡路島の魅力発信に寄与する。

3. 取組状況（2月末時点）

昨年度寄港した事業者のクルーズ船は今年度、寄港なし。
スーパーヨットに関する取組について関連事業者と意見交換を実施。

4. 課題

継続して寄港していただくための受け入れ態勢の強化が必要。

5. 令和8年度の取組（予定）

クルーズ船寄港の再開に向けて事業者と交渉を行う。

主な取組の進捗状況

（戦略分類）基本戦略（サステイナブル戦略）
（施 策 名） No.4 大浜公園の利用促進

（団体名）洲本市

1. 概要

海水浴シーズン以外での公園利用を促進するため民間活力を活かしたイベント等を誘致する。

2. 令和7年度における取組の目標

大阪・関西万博、淡路花博25周年記念「花みどりフェア」の開催に合わせて「みんなでつくる洲本市PRイベント」を開催するとともに、定期的、継続的なイベントを増やしていくことにより、大浜公園の魅力発信に努める。

3. 取組状況（2月末時点）

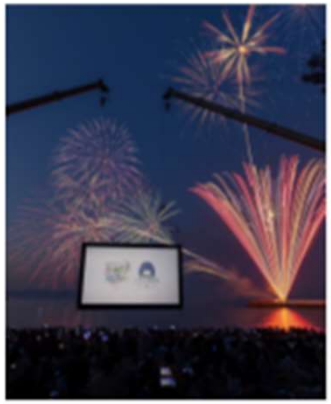
うみぞら映画祭、花みどりフェア、みんなでつくる洲本市PRイベント等の各種官民のイベントを連携し開催。相乗効果により、多くの来場者で賑わった。また、昨年度開始された民間主体のイベント（海辺のあさいち・あさごはん等）も継続して開催された。

4. 課題

大規模イベント時の駐車場不足。

5. 令和8年度の取組（予定）

・継続して開催されているイベントについては継続して開催されるよう、また新たなイベントの開催地として選ばれるよう、施設の整備や改修等を継続して行い、魅力向上を目指す。



【うみぞら映画祭】

【竹で作った巨大ブランコ】

【海辺のあさいち・あさごはん】

主な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略２（商品戦略②：高付加価値化）
（施策名）　No.5 鳴門海峡エリアの観光ブランディング事業

（団体名）南あわじ市

1. 概要

・鳴門海峡の渦潮が育む海の幸を活かしたグルメ開発や、鳴門海峡エリアの自然と体験コンテンツをPRすることで、ブランド力を高める。

2. 令和7年度における取組の目標

「うずしお海道」プロジェクト推進協議会による自走化、うずの幸グルメ・カップイングルメのお披露目会の実施等。

3. 取組状況（2月末時点）

・企画部会（6/9、9/3、12/15、1/20）、総会（7/14）の実施

・ワークショップ（11/18）、マイスター試験（1/29）、お披露目会（2/12）の実施

・うずしおぐるぐるHPでの情報発信

4. 課題

・うずの幸の認知度の向上

・参画事業者による自走化、参画事業者の増加

5. 令和8年度の取組（予定）

・うずの幸グルメ、カップイングルメを活用したキャンペーン

・インフルエンサーの招聘

・「うずしおぐるぐる」SNSの運用委託

主な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略２（商品戦略②：高付加価値化）
（施策名）No. 6 徳島空港＋レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ

（団体名）淡路島観光協会

1. 概要

徳島空港＋レンタカー等の活用を航空会社、旅行会社、OTA等に働きかけ、Web等での淡路島特集を展開

2. 令和7年度における取組の目標

・羽田空港－徳島空港活用の周知拡大

・徳島空港を活用したツアーの造成

3. 取組状況（2月末時点）

・ JAL/ANAに加えOTAサイト（じゃらん及び楽天トラベル）での淡路島LP（ランディングページ）の特集展開【★】

・首都圏発小豆島＆淡路島周遊ツアーの造成（阪急交通社）

・徳島空港発着韓国旅行社ツアーの造成（企画調整中）

4. 課題

・徳島空港利用促進担当部局（徳島県）との連携強化

5. 令和8年度の取組（予定）

・JAL/ANA/OTAサイトと連携した淡路島LP特集展開【★】

じゃらんnet

阪急交通社ツアー

主な取組の進捗状況

（戦略分類）推進戦略２ （商品戦略②：高付加価値化）
（施 策 名） No. 7 世界的観光立島・淡路市事業（はじまりの島　あわヂカラ フェスティバル
（淡路市マスコットキャラクターイベント事業））

（団体名） 淡路市

1. 概要

・2025大阪・関西万博からの追い風となる賑わいを継承し、本年度、市制20周年を迎えた淡路市において、淡路市マスコットキャラクターの「あわ神」、「あわ姫」の知名度向上及び本市の歴史・文化を同時に本市から積極的に情報発信することで、淡路市の底力（アワヂカラ）を広く市内外へPRします。

また、阪神・淡路大震災から30年となり、北淡震災記念公園を会場に震災の教訓を後世に伝えていきます。

2. 令和7年度における取組の目標

・㈱パソナグループが開催する「UNDOUKAI　WORLD CUP2025」とタイアップして実施する本イベントでの集客は3日間で延べ70，000人を目指します。

3. 取組状況（2月末時点）

・本年度は、阪神・淡路大震災から30年の節目の年であり、「島」「復興」「地域連携」をテーマに、参加キャラクター数を招待キャラクターを含め、25キャラクター（21団体）が集結し、参加する団体（地域）の情報発信等を行いました（延べ参加人数は約40，000人）。 ※イベント初日（10/31）は、悪天候のためステージイベントの開催を見送りました。

4. 課題

・次年度以降の民間事業者主導によるイベント運営等の確立（行政主導の運営から民間事業者によるへのイベント運営の移行）

5. 令和8年度の取組（予定）

・マスコットキャラクターイベント事業は、令和5年度から3年間の限定での開催のため、令和8年度は、行政が主体的になって実施の予定はありません（公費負担もなし）。

主な取組の進捗状況

（戦略分類） 推進体制と検証体制の確立
（施 策 名） No. 8 観光協会ツアーの実施（自主財源確保対策）

（団体名）淡路島観光協会

1. 概要

自主財源確保策の実施（募集企画型旅行の企画・販売など）

2. 令和7年度における取組の目標

・収益事業化に向けた事業の基礎づくり
・「淡路島ならではの本物体験」コンテンツの充実、販売強化、
　ランドオペレーター機能を拡充

3. 取組状況（2月末時点）

・BtoB向け：DMCのFAMトリップを強化：19件
・BtoC向け：国内外のOTAサイトへプラン登録拡大：62プラン
・深日洲本ライナー関連で行く淡路島日帰りツアー（R7.5.10～11.3）
・「AWAJISHIMA観光スマパス」の販売：477枚

4. 課題

・プラン造成・登録、精算事務など体制整備とスキルアップ

5. 令和8年度の取組（予定）

・ グローバルサイトへの本格参画、ランドオペレーター機能強化

ランドオペレーター実績

依頼件数	人数	圏・地域	依頼者
5件	26名	【アメリカ】9名 【シンガポール】7名 【インドネシア】2名 【メキシコ】8名	DMC 1件 9名 SNS(DM) 4件17名

KKDAY

アクティビティジャパン